

令和4年度 「社協の総合相談」をすすめるための関連研修 (社協コミュニティソーシャルワーク研修) 実施要項

1. 趣旨

社会的孤立・排除や世帯の複合課題、制度の狭間などの地域福祉問題があげられ、今後の包括的な支援体制の構築をすすめるうえで、とくに、多機関・多職種の協働や多様な地域住民の参加は重要なポイントになると言われています。また、県内社協において、重層的支援体制整備事業の実施や「社協の総合相談」の推進のため、コミュニティソーシャルワーカーの配置や、地区担当制を設ける等、環境整備やネットワークの構築が図られています。

本研修では、個別支援や地域支援を行う社協職員が新たな学びにより社協コミュニティソーシャルワーカーの学びを深め、その位置づけや方向性を再確認し、「社協の総合相談」を活かして、社協コミュニティソーシャルワーク力を高めていくことを目指します。

2. 研修の構成

社協コミュニティソーシャルワーク研修は、2種類の研修から構成されています。

(1)スクール形式で講義を受講する「社協基礎研修」

(2)少人数で受講する社協職員の問題意識や主体性を重視して行う「社協ゼミナール」

3. 主催

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 市町村社協部会

4. プログラム等(プログラムは変更する場合があります。)

(1)社協基礎研修

(概要)

本研修は、コミュニティソーシャルワーカーの基礎を再確認しながら、地域でのコミュニティソーシャルワーク実践方法を学び、共有することで地域共生社会の実現にむけた社協について学んでいきます。

(対象)

基本として社協入職3年から15年程度の職員で個別支援・地域支援を担当する職員(正規・非正規の雇用形態は問わない。上記以外の年数の職員の参加も可能。)

(開催方法)

web会議システム「Zoom」によるオンライン開催

※コロナウイルスの感染状況を鑑みつつ、3日目のみ対面形式もしくはweb会議システム「Zoom」によるオンライン開催(10月14日(金))を目途に受講者へメールで通知。

(プログラム)

全3日間の選択制(1日のみでも参加可能)。3日目のみ対面形式で実施予定。

	日時	テーマ	開催方式	講師
1 日目	令和4年 9月12日 (月曜日) 14:00~16:00	「地域のアセスメント・社会資源開発 のプロセス」 (地域アセスメントの手法、地域づく りへのつなげ方)	Zoom	駒澤大学 川上 富雄氏
2 日目	令和4年 9月27日 (火曜日) 14:00~16:00	「ソーシャルワークの基礎」 (人間・人権尊重、社会福祉の理念、自 立と支援の視点、エンパワメント、ソ ーシャルワーカーの倫理など)	Zoom	大阪公立大学 野村 恭代氏
3 日目	令和4年 10月20日 (木曜日) 14:00~16:30	「社協の実践から考える」 (地域住民から見た社協、社協 CSW の 実践について、社協 CSW の実践報告)	対面また は Zoom	武蔵野大学 渡辺 裕一氏 実践報告 小田原市社協 栗田 知征氏 二宮町社協 石川 慎輔氏

(定員)

各日 40 名程度

(会場)

1 日目・2 日目：Zoom を活用したオンライン開催

3 日目：神奈川県中小企業共済会館 601~604 会議室（横浜市中区北仲通 3-33）

みなとみらい線「馬車道駅」6 番出口より徒歩 3 分

※コロナウイルスの感染状況によっては Zoom を活用したオンライン開催に変更



(2)社協ゼミナール

(概要)

本ゼミナールでは、個別支援・地域支援を担当する個々の社協職員の問題意識や主体性に基つき、社協における実践課題と結び付くよう、指導教授が関わりながら、少人数のチーム制で学んでいきます。

(対象)

基本として社協入職3年から15年程度の職員で他市町村社協職員とのネットワークの構築を図ることができる個別支援・地域支援を担当する職員。（*雇用形態、経験年数等構成のバランスは事務局で調整。上記以外の年数の職員の参加については要相談。）。少人数制（5～10名程度）で実施。

(日程)

初回開催日時

令和4年9月2日（金）10：00～12：00

※2回目以降は指導教授、ゼミ生、事務局と調整の上、日程を決定します。

(受講選考・決定)

所定の申込フォームまたは二次元コードよりお申し込みいただき、併せて所定の自薦他薦の書類により、県社協で書類選考のうえ、受講決定します（8月24日（水）に通知予定）。

※申込多数の場合は、ご希望に添えないことがあります。

(特記事項)

- 各ゼミには「ゼミ長」（*受講する社協職員から選出）ならびに「指導教授」（学識者）を配置します。
- 1回2時間程度。年5～6回程度(単年度完結)※受講人数や内容によって時間、回数は前後します。
- 原則集合形式で開催。
- 年度の最後にゼミ論集を作成する予定です（指導教授の講評付き）。
- 運営に関しては都度、県社協と相談のうえ、行うこととします。

(会場)

かながわ県民センター12階第2会議室（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2）



○記録・事例検討・ニーズに関する学習の機会(指導教授:武蔵野大学 渡辺裕一氏)

(概要)

地域支援を記録する意味、支援事例の検討方法、スーパービジョンの必要性など、個別支援と地域支援がつながるために必要なことについて地域づくりの視点から学んでいきます。

(プログラム例)

1	コミュニティソーシャルワークにおける記録化と事例検討の必要性 ～社協 CSW の抱える課題の共有化～
2	I. コミュニティソーシャルワークを記録する ①記録の意義や役割、②コミュニティソーシャルワーク記録の難しさ、③コミュニティソーシャルワーク記録の現状、④ソーシャルワークプロセスから考える、⑤援助者の思考に沿った記録、⑥実現に向けて解決すべき課題 など
3	II. コミュニティソーシャルワーク事例検討やスーパービジョンを行う ①コミュニティソーシャルワーク事例検討やスーパービジョンに関する現状、②スーパービジョンとはどのようなものか、③まずは情報共有から、④中堅職員のレベルアップ、⑤職場での会話の中にスーパービジョンの意識を、⑥より多くの職員で共有できる場へ、⑦職場環境整備 など
4	III. 個別ニーズ・地域の福祉課題とコミュニティソーシャルワークを連動させる ①個別ニーズや地域の福祉課題の把握、②把握したニーズ・地域課題をどうコミュニティソーシャルワークと結び付けるか、③住民とともに課題解決をはかる、④地域福祉活動計画との関連性、⑤まとめ-これまでの取り組みを振り返る
5	IV. 令和3年度社協ゼミナール生との交流会 ①市町村社協職員のつながりの構築

5. 申し込み方法及び申し込み締め切り

(申し込み方法)

- ・お一人ずつでの申し込みとなります。
- ・下記 URL もしくは二次元コードにて受付。

(1)社協基礎研修 【申込フォーム】 <https://forms.gle/dNCAyBMgXkztU74x5>



(2)社協ゼミナール 【申込フォーム】 <https://forms.gle/KVfKUdLvuxb8NFxLA>



※ゼミナールについては、申込フォームとは別に、【様式 1, 2】による「自薦他薦の書類」を PDF 加工のうえ、メールにてご提出いただきます。(※「自薦他薦の書類」は研修案内時にメールで送付しています)。

(申し込み締め切り)

- ・社協基礎研修 1 日目：9 月 5 日（月）
- ・社協基礎研修 2 日目：9 月 20 日（火）
- ・社協基礎研修 3 日目：10 月 13 日（木）
- ・社協ゼミナール：8 月 19 日（金）

6. 問い合わせ

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会 地域福祉部地域課

(担当：上田泰成)

Tel：045-312-4813

e-mail：tiiki@knsyk.jp